

# 計画の基本理念について

～第2回 子ども・子育て会議  
グループ討議より～

平成26年1月20日(月)

松戸市 子ども部 子育て支援課

Aグループ【妊娠・出産から0歳】

石田・小野・永瀬・奈賀・西（敬称略）

母が安心して産み暮らす

どういう風に育ってほしいか  
（理想）

- ・自分が好き・自己肯定感が持てる
- ・ありままでいいと言ってくれる人（地域）との出会い
- ・色々な人や異世代コミュニケーションがある地域
- ・必要なかかが出来ると見守る目

どのような取り組みがあるとよいか  
（取り組みの方向性）

- ・妊娠前・中からの学習（産院、ママパパ学級）
- ・子育て
- ・支援（者）のシステム作り
- ・中、高校生の体験機会
- ・妊娠中からの子育て支援施設見学

松戸市の子どもや家族、  
地域の状況について（現状）

【二極化】

- ・きれい好きorかまわない
- ・努力しすぎorしない
- ・知識があるorない

【不安】

- ・周りのことが気になる
- ・自信が無い
- ・産後うつ

【コミュニケーションが苦手】

- ・祖父母に頼りすぎ
- ・子どもとの接し方がわからない
- ・向き合う時間が無い
- ・対話の不足

【頑張りすぎる親】

- ・関わりすぎ
- ・母親の高齢出産
- ・母ひとりの頑張り

【いい親でありたい】

- ・子育て情報（ネット）に頼る
- ・知識と現実のギャップ
- ・まじめ
- ・生んだ後のイメージ不足

【その他】

- ・妊娠、出産のマイナスイメージ
- ・抱っこの経験なし
- ・泣き声苦手

すべての子どもが平等に対等に生きる

どういう風に育ててほしいか  
(理想)

【格差の無い】

- 外国人への子育て支援
- 子どもひとりひとりが平等に、  
対等に教育を受ける機会

【選択できる】

- 未就学の教育
- 安心して子育てできる場、遊び場

- 就学前の親の役割
- 父母が子どもを見守る目
- 経済的支援

- 子どもの健全な成長を  
支える地域社会
- 平等な行政の支援

- 安全・安心な社会
- ハンデキャップの  
ある子にやさしい社会

どのような取り組みが  
あるとよいか  
(取り組みの方向性)

- 障害児、健常児のともに育ちあう場
- 社会とのつながり（場、機会）
- 世代間交流
- 雨天の居場所
- 地域社会、資源の活用
- 地域づくり
- 医療機関の見守り・連携
- 子どもの育ち（中高生）、小さい子  
を知るボランティア
- 保護者教育
- 中高生の職場体験
- 入園前の体験→選択
- 成長に応じた自立支援
- 幼・保一貫した保育  
（4Hのコアタイム）

松戸市の子どもや家族、  
地域の状況について（現状）

【異年齢のつながりが少ない】

- 子どもをうるさいと思う社会
- 異年齢の体験不足
- 祖父母との触れ合いが少ない
- コミュニケーション力が弱い（子、親）
- 児童文化が弱い
- 女性の経済的自立

【保護者の傾向】

- 育て方がわからない  
親（体験無し）
- 知識は豊富だが視野  
が狭い
- 仲間作りが出来ない  
（ストレスを抱える）
- 目標の画一化

【幼稚園・  
保育園の違い】

- 健康指導
- 保育料
- イメージ  
（幼稚園：文科省  
保育所：厚労省）

子どもが人として大切なことを知る

どういう風に育ててほしいか  
（理想）

【人間関係】

- ・互いに挨拶できる関係（地域）
- ・ゆとりある生活

初期には仕掛けが必要  
（すべての面で）

【あそび・体力】

- ・心身の健康
- ・体力ある子
- ・障害児と触れ合う機会が多い
- ・地域の異年齢交流、世代間交流ができる
- ・泥んこ遊びが出来る環境
- ・公園でゲームをしない

【コミュニケーション】

- ・子どもの話をしっかり聞く
- ・ゆとりある生活
- ・休日に皆でゆっくり過ごす
- ・食卓を家族で囲む
- ・地域のつながりを大切にする
- ・挨拶・返事・生活態度 をきちんとする

- ・全ての子に幼児教育を
- ・郷土愛を持つ
- ・夢が語れる子ども
- ・高齢者との触れ合い
- ・命を大切に出来る子
- ・自分の思いを伝えられる子
- ・ご縁を大切にする人

どのような取り組みがあるとよいか  
（取り組みの方向性）

- ・バリアフリー
- ・安心できる地域
- ・多様な人が集まる地域
- ・教育費の軽減
- ・親の学びの機会の提供
- ・子どもが主体的に、自由に決められる機会
- ・親子で遊んで楽しい公園作り
- ・子が親から離れて体験できる機会
- ・主婦・主夫のための3歳未満の居場所
- ・幼稚園行事への参加機会

松戸市の子どもや家族、  
地域の状況について（現状）

【あいさつ】

- ・挨拶に感じられない（親、子）
- ・笑顔で迎えに来る親が少ない

- ・多人数で遊ぶことが少ない
- ・家の周りで遊ぶことが困難
- ・遊びに行く先も親の選択

- ・早く早くと追い立てられる子ども
- ・子育てのサポート者が固定化
- ・親と子だけで過ごしている
- ・手をつないでもらっている子が少ない

- ・すぐ、カッとなる子
- ・自己コントロールできない子
- ・年長になっても抱っこやおんぶをせがむ子

【二択】

- ・出産後→退職or育休
- ・幼稚園or保育所

- ・スマホを見ながら…

豊かな人間性のある人になる

どういう風に育てほしいか  
(理想)

【人との関わり】

- ・世代間交流
- ・異年齢交流
- ・コミュニケーション力のある子
- ・仲間、友達、家族を大切に出来る子

【生活力・社会力】

- ・手伝い（奉仕心）のある子
- ・生活体験を豊かに持つ子
- ・自分の意見を持った子
- ・自分のことは自分で出来る子
- ・自己への自信と発信力のある子

【地域への愛着】

- ・地域（まわり）に興味を持つ子
- ・地域（文化・人）を知る
- ・地域に愛着を持つ
- ・地域に誇りと満足感を持つ
- ・将来の地域の担い手に

【人間性豊かな子】

- ・こころを育てる
- ・様々な体験を通して豊かな人間性を築く
- ・感情の豊かな子
- ・まわりを元気にしてくれる子

どのような取り組みが  
あるとよいか  
(取り組みの方向性)

【居場所作り】

- ・児童館に代わる場所の設置
- ・安心、安全な場所
- ・地域情報のある場、時間

【親の教育力】

- ・家庭教育学級
- ・参観日、懇談会の質の向上

【地域人材の活用】

- ・父親参画の事業
- ・魅力ある地域づくり
- ・地域人材の登用
- ・地域、学校、保護者を取込んだ事業
- ・放課後児童クラブ指導員のレベルアップ

【連携・発信】

- ・団体間の協働
- ・豊富な情報発信
- ・外部人材や専門家による講演
- ・保護者の姿勢を変えるには声かけから

【イベント  
子ども参画】

- ・子ども参画のイベント作り
- ・地域の祭り、休日イベントでの人とのつながり
- ・子ども会入会

松戸市の子どもや家族、  
地域の状況について（現状）

【保護者の状況】

- ・自分の生き方のほうが大事
- ・この年齢の子には、直接支援できない
- ・子どもと過ごす時間が取れない
- ・無関心
- ・共働き
- ・よその子を注意できない
- ・親のモラル不足
- ・基本的なしつけの不足

【地域行事への  
参加が少ない】

- ・参加したい子が少ない
- ・地域で子どもの姿を見かけない
- ・地域での交流が少ない
- ・郷土愛をもてない
- ・地域行事の手伝いは避ける

【多忙な子どもと  
無目的な子どもの  
二極化】

- ・学校行事等で忙しい
- ・勉強が忙しい
- ・放課後が忙しい
- ・部活、クラブ不参加
- ・遊ぶ仲間が同学年

【支援活動の不足  
その他】

- ・放課後児童クラブでの課題
- ・放課後児童クラブの指導員のあり方
- ・小中高生への支援事業が少ない
- ・虐待といじめの問題
- ・地域で子育てに熱心な所も多い

【居場所が無い】

- ・安全な遊び場が限定されている
- ・外遊びが少ない
- ・カラオケやショッピングセンター
- ・集まれる居場所が無い
- ・放課後児童クラブのOG,OBの参加が少ない